

令和3年度 学校評価書

評価基準： 4, A (期待以上…8割以上) 3, B (ほぼ期待通り…5～8割) 2, C (期待を下回る…2～5割) 1, D (改善を要する…2割未満)

えびの市立真幸中学校

本年度の重点目標		評価項目	生徒	保護者	教師	学校の自己評価コメント	自己評価	関係者評価	学校関係者のコメント
キャリア教育	ふるさと「えびの」の人財育成	①ふるさと「えびの」に対する誇りを持たせる教育活動を行っている。	3.1	2.9	2.5	将来の夢や目標は明確な生徒が多い。ふるさと「えびの」の将来を担う人材の育成を図るためにも、「えびの学」を中心として探求的な学習を意図的に実践していきたい。	B	B	○将来えびのに残ってほしいが、実際は残れないのが現状だと思う。しっかりとした将来の夢を持ち、その上で地元に残る・帰ってきてほしいと思います。 ○郷土愛を育てる教育の実践化が必要である。子どもは三位一体で育てることが地域再生の鍵である。 ○この地での恩恵を受けたという思いがあれば、ふるさとへの思いも強くなるのでは・・・。 ○ふるさとえびのに愛着をもっている生徒が何人いるのでしょうか？ 少数でも良いのでえびので育ててほしいです。 ○ボランティア活動や職業人インタビューで「えびの」の地域や仕事を知り、「えびの」の将来を担う人財の育成が図られていると思う。
		②ふるさと「えびの」の将来を担う人財の育成を行っている。	2.3	2.6	2.5				
		③将来の夢や目標を持っている。	3.4	3.3	2.9				
徹底した学力向上	主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善	④生徒が分かりやすいように授業を工夫している。	3.2	2.9	3.0	今年度はICTを授業で試みることを意識して授業改善に取り組み、全職員2回ずつ研究授業を行った。個別指導については教師・保護者はもう少し課題があると捉えているが、生徒はほぼ期待通りの効果があったと答えている。更なる学力向上のためにも、小テストや単元末テストなどによるスモールステップな学びの振り返りを行ったり、定期テストへの取組を充実させていく必要があると考える。また、小中連携した一貫性のある学力向上についても小学校と協力して改善していきたい。	B	B	○県内・地域内の平均点を上回るのは大変素晴らしいと思います。先生方の指導のたまものだと思います。自学の習慣づけも中学校でも必要だと思うので、保護者への協力呼びかけも必要だと思います。 ○まず、基本的な学力の定着化を図る。なぜ学ぶのかについて生徒に意識付けを行い、具体的な目標を設定し、成果の充足感を実感させる。 ○学力向上は教職員の共通理解のもとで行うべきである。 ○ICTの活用にはご家庭と共有するルールが必要となるので、共有認識が各家庭により違うのでとても不安だと思います。ネットリテラシーがとても大事となりますので、子ども達が被害者にも加害者にもならないような教育が大切ですね。 ○学力向上に先生方も大変ご苦労されていることでしょうか。何と言っても本人の自主性が一番ですね。 ○この項目の生徒評価が高く、学力向上したと感じた生徒が多く、小テストなどが復習となり、学力向上につながっていると思う。 ○宿題の内容や量がかなり多い教科があった。宿題についての見直しが必要だと感じた。
		⑤それぞれの生徒にあった指導の工夫をしている。	3.2	2.8	2.5				
		⑥単元テスト等により学びの見届けをしっかりと行っている。	*	*	2.6				
		⑦「英語表現」の授業実践が外国語能力の向上につながっている。	2.9	2.9	3.0				
	定期テストへの取組	⑧定期テストに対して計画的に学習に取り組んでいる。	3.0	2.8	2.9				
		⑨テストのやり直しをきちんとしている。	2.9	2.8	2.9				
小中連携	⑩小中連携した一貫性のある学力向上に取り組んでいるか。	*	2.8	2.1					
礼節を知る	凡事徹底	⑪時間を意識した行動（提出物の期限を含む）ができる。	3.3	2.9	2.6	時間を意識した行動と整理整頓について、生徒はできていると考えているが、大人目線では不十分であるので、具体的な指導を充実させていき、生徒の自己評価力を高めていく。また、⑭と⑮については、全体的にはよいが、個別に見ると課題があるので、教師の見逃しのない指導を徹底していきたい。	B	B	○生徒・先生方の気持ちのよいあいさつは本当に素晴らしいと思います。学校の指導だけではなく、自宅での保護者の協力の方が大事だと思います。 ○人生観や価値観が多様化する時代である。よって、社会の変容に対応できる力を身につけさせる。そのためには、キャリア教育の推進は不可欠である。 ○時々生徒さんと出会い、こちらからあいさつすると、しっかり「おはようございます」という生徒さんが多い中、軽く会釈する生徒さんもいます。声を出して元気よくあいさつはしたいものです。 ○あいさつに関してはとてもよい印象を受けます。 ○すべての生徒がしっかりとあいさつできて素晴らしいです。 ○時間を意識した行動については無理な時間設定をせず、子ども達に余裕をもたせてもらいたい。 ○がんばっている（してくれる）生徒に負担がいかないように、クラスみんなで協力して楽しい学級づくりをお願いしたい。
		⑫身の回りをきれいに保ち、整理整頓ができる。	3.1	2.5	2.9				
		⑬学校・家庭・地域で元気のよいあいさつができている。	3.2	3.1	3.2				
	居心地のよい学校づくり	⑭居心地がよく、楽しいと思える学校づくりをしている。	3.2	3.0	3.0				
		⑮いじめや不登校傾向を見逃さず、適切な対応を行っている。	3.2	3.0	3.0				

健康・安全 体力向上	部活動の充実	⑩部活動（社会体育を含む）により体力・競技力の向上が図られている。	3.5	3.0	3.0	部活動については県や市の方針に沿って取り組んできたが、活動時間など保護者への説明不足を感じられた。危機管理については現状に合わせてマニュアルの見直しを行った。感染対策は学校生活の全般において意識して取り組むことができた。	B	B	<p>○先生方の感染対策には大変助けられました。毎日の消毒作業は本当に大変だと思います。本当にありがとうございました。</p> <p>○人間生きていく上で体が資本となる。今心身を鍛えることは、将来のためにも大きな意義がある。コロナ禍で非日常が続き厳しい状況下にあるが、工夫して対応すべきである。</p> <p>○自分の好きな部活でそれぞれにがんばっていると思います。</p> <p>○コロナ禍で部活動の時間が制限されているが、がんばっていると思う。</p> <p>○避難訓練等は毎年されているのか？</p>
	危機管理能力	⑪自分の身を自分で守るような力が身についている。	3.3	2.9	2.5				
	新しい生活様式	⑫日常生活を営む上での基本的感染対策の実践がなされている。	3.5	3.3	3.3				
その他	働き方改革	⑬部活動の活動時間や休養日は適切に設定されている。	3.3	3.1	3.5	部活動は、県や市の方針に沿って活動時間や休養日を設定している。また、今年度は学校で配布するプリントをホームページに掲載したり、行事の様子を掲載したりするなど、情報発信に努めてきた。今後、時間外業務を少しでも減らせるように業務内容を見直し、改革を進めていく。	B	B	<p>○学校からのメールやホームページ掲載など、本当に感謝することばかりでした。</p> <p>○働き方改革は社会全体の課題である。教職員の負担軽減に向けて業務内容を再検討すべきであると思う。現状では、優秀な人材の確保が難しくなる。</p> <p>○メールで情報がくるので助かります。内容は、ホームページを見ると配付された文書の内容等見ることができるので、子どもが保護者に見せなかったものも保護者が把握できるので良いと思います。</p> <p>○先生方も大変なことと思います。先生方も勤務時間内に出勤ができますように・・・</p> <p>○先生方の時間外業務の改善が必要であると思う。</p> <p>○プリントがホームページに掲載されたり、メールで提出期限が送ってきたり、ホームページに行事の情報や写真が掲載されていて、学校の様子が分かりやすかった。</p>
		⑭時間外業務45時間以内を目指して業務を行っている。	*	*	2.8				
	情報発信	⑮学級だより、ホームページ、メールなどを通して、積極的に情報を発信している。	2.8	3.1	3.1				